

商品売買 第2問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適切と思われるものを選ぶこと。

1. 商品を¥150,000で購入し、代金は掛とした。なお、商品売買の仕訳方法は、「販売の都度、商品勘定から売上原価勘定に振り替える方法」によるものとする。
2. 1.の商品を¥200,000で販売し、代金は掛とした。なお、商品売買の仕訳方法は、「販売の都度、商品勘定から売上原価勘定に振り替える方法」によるものとする。
3. 得意先青森商会(株)に対して商品を¥130,000で販売し、代金は掛とした。なお、当社は、検収基準を採用している。
4. 得意先青森商会(株)から、3.の商品に関して検品が終了した旨の連絡を受けた。
5. 秋田ビジネススクール(株)は、12月25日に1月から開校予定の講座(受講期間1年)の受講料¥360,000を現金で受け取った。
6. 秋田ビジネススクール(株)は3月31日に決算日を迎え、5.に関して講座が完了した月数分だけ役員収益に振り替える処理を行った。
7. 岩手設計事務所(株)は、以前に計上していた給料¥350,000と旅費交通費¥150,000が、顧客の依頼のあった設計図の案件(設計中)に直接使われたことが明らかになったので、適切な勘定に振り替えることとした。
8. 岩手設計事務所(株)は、7.の設計図が完成したので、これを顧客に納品し、請求代金¥800,000が当座預金口座に振り込まれた。
9. 宮城観光(株)は、ツアーを企画・募集したところ、30名からの申込みがあり、代金合計¥300,000が普通預金口座に振り込まれた。
10. 宮城観光(株)は、ツアーを催行し、添乗員の給料及び交通費合計¥200,000を小切手を振り出して支払った。

商品売買 第2問 模範解答

| | 仕 | | 訳 | |
|----|------|---------|-------|---------|
| | 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
| 1 | 商品 | 150,000 | 買掛金 | 150,000 |
| 2 | 売掛金 | 200,000 | 売上 | 200,000 |
| | 売上原価 | 150,000 | 商品 | 150,000 |
| 3 | 仕訳なし | | | |
| 4 | 売掛金 | 130,000 | 売上 | 130,000 |
| 5 | 現金 | 360,000 | 前受金 | 360,000 |
| 6 | 前受金 | 90,000 | 役員収益 | 90,000 |
| 7 | 仕掛品 | 500,000 | 給料 | 350,000 |
| | | | 旅費交通費 | 150,000 |
| 8 | 当座預金 | 800,000 | 役員収益 | 800,000 |
| | 役員原価 | 500,000 | 仕掛品 | 500,000 |
| 9 | 普通預金 | 300,000 | 前受金 | 300,000 |
| 10 | 前受金 | 300,000 | 役員収益 | 300,000 |
| | 役員原価 | 200,000 | 当座預金 | 200,000 |

【解説】

6. 役員収益 ; 1月1日から決算日3月31日までの3か月分

$$\text{¥}360,000 \times 3 \text{ か月} / 12 \text{ か月} = \text{¥}90,000$$